

# ふくしえんだより

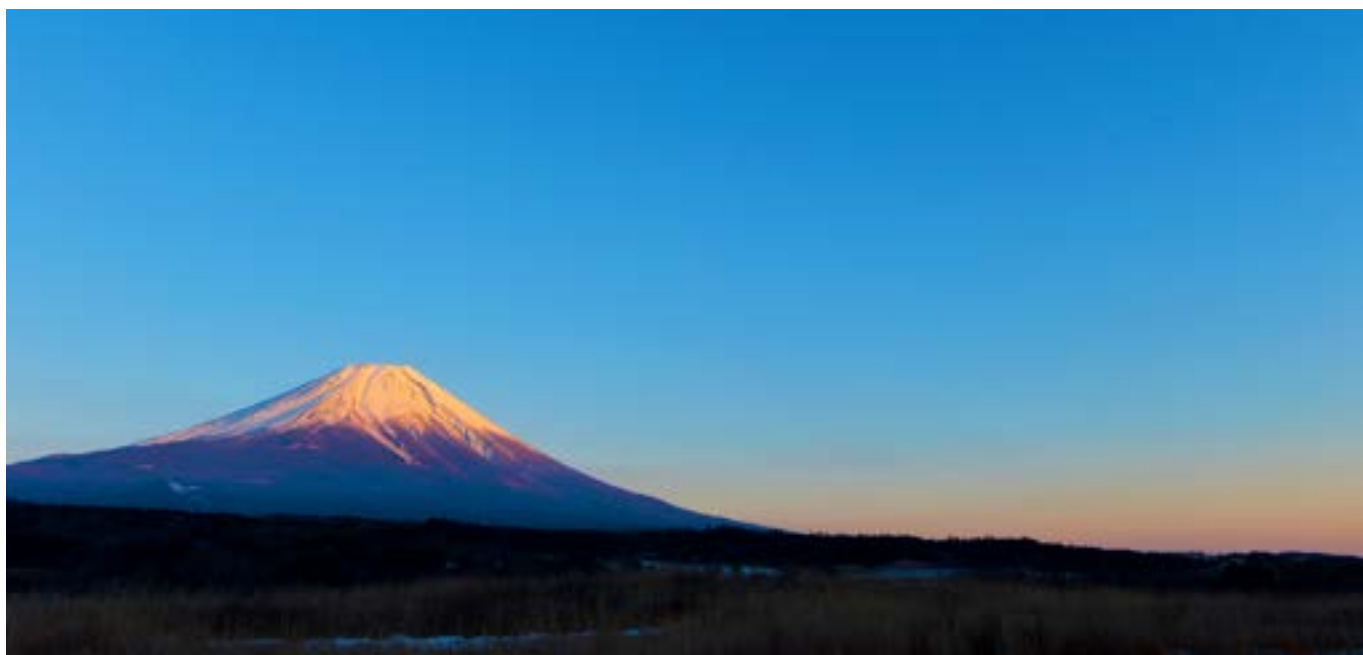
【第72号】

題字 ふくしえんだより第1号より

〒070-0901 旭川市花咲町1丁目2232番地／代表TEL(0166)53-5781・FAX(0166)51-2409  
事業所直通／TEL(0166)54-8553・FAX(0166)54-8559

ホームページ【<https://kyokushinkai.or.jp/index.html>】 E-mail【[fukushit@potato.hokkai.net](mailto:fukushit@potato.hokkai.net)】

発行責任者 今野正孝



## 年頭のごあいさつ

社会福祉法人 旭川旭親会

理事長 今野正孝

旧年中は皆様方から一方ならぬご指導ご鞭撻を賜り心からお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が長期にわたり流行する中、社会福祉法人旭川旭親会が運営する施設群では、マスクと手洗いの励行、施設内外の消毒等による徹底した衛生面の注意喚起により、休園せず運営していることにひとまず安堵しているところであります。

さて一昨年からは第二旭川福祉園(生活介護)の新築工事を計画していましたが、昨年の七月に旭川市障害者福祉施設等施設整備費補助事業の交付決定をいただくことができました。多くの皆様からのご支援に対し、衷心より厚く感謝申し上げます。おかげさまで、九月十日の地鎮祭を得て、無事新築工事の着工へ進むことができました。工事の方も十二月末で六割がた出来上がり、予定通り本年三月中には引き渡しを受け、四月の新築オープンに向け計画通り進んでいます。

この第二旭川福祉園には、きたのまち相談支援事業所や発達障害者支援センターの併設、また発達障害者の支援を中心に展開している地域活動支援センターきたのまちジョブリハセンターの移設、さらに三か所目のグループホーム北野を開設し、社会が激変する中、知的・発達障がい児者支援の対策も着々と準備を進めているところであります。

まだまだ新型コロナウイルス感染症では予断を許さない状況下ではありますが、ウィズコロナ時代を視野に入れ、引き続き感染症対策に万全を期していきたいと思っております。

二〇二二年は社会福祉法人旭川旭親会にとりまして、四十二年におよぶ長い歴史の中で重要なターニングポイントの年となります。

今後引き続き、知的・発達障がい児者の幸せを願い、努力を積み重ねて参りますので、今年度もどうぞよろしくお願い致します。

# 2022年3月 完成予定 第二旭川福祉園 建替え工事について



第二旭川福祉園 生活介護事業  
建物完成イメージ

昨年はおのすこいスピードでコロナウイルスの感染が拡大した令和2年を継続するような年でした。行動の制限、行事の見直しを余儀なくされた年となり、ワクチン接種が進み、第5波といわれる感染のうねりが落ち着きを見せる中、変異株の動向を気にしながら年を越す事となりました。そのコロナ禍において、令和3年度旭川市障がい者福祉施設等整備・運営計画の採択を頂き、第二旭川福祉園生活介護の整備に着手する事となりました。7月末から建物解体工事、9月22日建替え工事着工、令和4年3月末までの完成に向けて現在着々と工事が進んでおります。

今回整備する建物は旭川市の障がい者施設等整備方針に沿って、重度障がい者に対応した生活介護を整備する事となっており、重度者支援における諸課題に対応して行く内容となっております。また現在、旭川市障がい者福祉センター「おびつた」に設置されている北海道発達障害者支援道北地域センター「きたのまち」の機能、及び市内1条16丁目にある相談支援事業所の移設を行い、重度障がい者の支援に対する連携、相談ニーズへの対応の強化を図ってまいります。多様な障がい特性や高齢化のみならず地域生活を継続する中での対応など総合的な支援を求められてきている事を踏まえ、今回整備される内容及び幅広い連携体制を構築して質の高い支援を求めて行きたいと思っております。

コロナ禍の影響が大きいのもちろんですが、工事期間中で利用されている方においては多くの楽しみや経験の機会を提供出来ない事もあり、今しばらく普段とは違う日常の中での日中活動が続いていますが、施設整備を終える今春まで皆さんと共に新しい門出を祝う日が来るのを待ち遠しく思い、しっかりと準備してまいります。

【第二旭川福祉園 施設長 田中英仁】



## 社会福祉法人旭川旭親会

- |    |      |    |      |    |      |    |      |    |      |    |     |    |      |    |     |    |       |    |      |    |      |    |      |    |      |    |      |    |     |            |             |    |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |      |       |      |       |  |
|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|-------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|-----|------------|-------------|----|------|-----|------|-----|------|-----|------|----|------|----|------|-------|------|-------|--|
| 理事 | 今野正孝 | 理事 | 中田英作 | 理事 | 生駒雅彦 | 理事 | 守屋陽子 | 理事 | 山田弘子 | 理事 | 米山隆 | 理事 | 佐藤優幸 | 理事 | 加藤隆 | 理事 | 煙山千賀子 | 理事 | 山崎與吉 | 理事 | 大廣泰久 | 理事 | 石田雅敏 | 理事 | 稲田公要 | 理事 | 湯野信一 | 理事 | 萩原拓 | 旭川福祉園保護者の会 | 旭川福祉園利用者自治会 | 会長 | 仲条文月 | 副会長 | 高儀雪昭 | 副会長 | 長野智章 | 副会長 | 古川幸路 | 監査 | 宮本光規 | 監査 | 田井竜人 | 美化委員長 | 青木隆芳 | 行事委員長 |  |
|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|-------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|-----|------------|-------------|----|------|-----|------|-----|------|-----|------|----|------|----|------|-------|------|-------|--|

公益財団法人 日本財団様より

障害者支援施設（就労継続B型）の車両整備事業の助成金交付を受けまして、移動配達用車両の整備を行いました！

旭川旭親会では、公益財団法人日本財団様より助成金の交付を受け、施設外就労先への移動及び印刷物等の配達用の車両として、ハイエースを購入しました。

助成事業内容等は以下の通りです。

助成金交付団体 公益財団法人 日本財団  
助成金対象事業 障害者支援施設（就労継続B型）の車両整備事業

・助成金額 2,620,000円

・購入物品

トヨタ ハイエースバン 5ドア 6人乗り

・納入日 令和3年9月10日



社会福祉法人 北海道共同募金会様より

共同募金助成事業の助成金交付を受けまして、

【業務用冷凍庫】を購入しました！

旭川旭親会では、社会福祉法人北海道共同募金会様より助成金の交付を受け、喫茶店事業の食品、トマトジュース用のトマト等を冷凍保存する為の業務用冷凍庫を購入しました。

助成事業内容等は以下の通りです。

助成金交付団体 社会福祉法人 北海道共同募金会  
助成金対象事業 共同募金助成事業 機器整備事業

・助成金額 310,000円

・購入物品 業務用冷凍庫

・納入日 令和3年6月9日



令和2年度 決算報告

社会福祉法人 旭川旭親会

貸借対照表の要旨 令和3年3月31日現在 (単位:千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	142,550	流動負債	20,695
固定資産 (基本財産)	243,344	固定負債	26,597
固定資産 (その他の固定資産)	359,102	負債の部合計	47,292
		純資産の部	
		基本金	30,065
		国庫補助金等特別積立金	117,585
		その他の積立金	290,312
		次期繰越活動増減差額	259,742
		純資産の部合計	697,704
資産の部合計	744,996	負債及び純資産の部合計	744,996

資金収支計算書の要旨

(自)令和2年4月1日

科目	金額
就労支援事業収入	32,283
就労支援事業支出	31,937
就労支援事業活動収支差額	346
事業活動による収入	334,307
事業活動による支出	284,722
事業活動資金収支差額	49,585
施設整備等による収入計	58,019
施設整備等による支出計	126,132
施設整備等資金収支差額	-68,113
その他の活動による収入	56,545
その他の活動による支出	28,981
その他の活動資金収支差額	27,564
当期資金収支差額合計	9,382
前期末支払資金残高	120,915
当期末支払資金残高	130,297

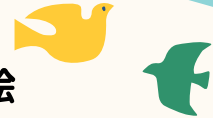
事業活動計算書の要旨

(至)令和3年3月31日現在

科目	金額
就労支援事業収益	32,283
就労支援事業費用	32,283
就労支援事業活動増減差額	0
サービス活動収益	333,916
サービス活動費用	294,685
サービス活動増減差額	39,231
サービス活動外収益	0
サービス活動外費用	1,573
サービス活動外増減差額	-1,573
経常増減差額	37,658
特別増減収益	52,015
特別増減費用	50,249
特別増減差額	1,766
当期活動増減差額	39,424
前期繰越活動増減差額	189,695
当期末繰越活動増減差額	229,119
その他積立金取崩額	56,545
その他積立金積立額	25,922
次期繰越活動増減差額	259,742

# 障害者支援センター「きたのまち」の取り組み

## きたのまち相談支援事業所 所長 島倉 千香絵



きたのまち相談支援事業所は、平成25年4月1日に開設し、指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業をしています。令和3年度は相談支援専門員7名の配置で、障がいのある方が地域で生活するために、相談支援専門員がご家庭を訪問してお話を聞き、利用する障害福祉サービスの計画作成や利用するための関係調整をしています。家庭訪問のご協力をいただきましてありがとうございます。

令和4年度からは、法人本部・第二旭川福祉園の建て替え・完成に併せて、相談支援事業所も現在の1条通から花咲町に移転する予定になっております。今後も法人全体で力を合わせて地域の課題に取り組み、障害福祉サービスを利用する方々が安心した生活を送れるように努めていきます。

本年もよろしくお願いたします。

## 北海道発達障害者支援道北地域センターきたのまち 副センター長 富士本 百合子

当センターは平成17年8月から北海道の委託を受けて、道北3振興局(上川・留萌・宗谷)を担当圏域として2名体制で運営しています。機関支援と地域の体制づくりが主な業務内容です。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、オンライン会議システムを活用した会議や面談の需要が高まり、その対応が増えた1年でした。

令和4年度からは第二旭川福祉園の施設内にセンターを分岐し、運営することを予定しております。拠点が二つになることにより、重層的な支援体制を目指します。

本年もよろしくお願いたします。

【令和3年4月～12月時点の活動報告】

事業内容		実績	R2年度 同期実績
発達支援	実支援人数	91人	103人
	延支援人数	448件	390件
就労支援	実支援人数	5人	13人
	延支援人数	14件	23件
研修会関係	主催・共催	3回(239人)	3回(228人)
	講師派遣	11回(440人)	11回(428人)
機関連携	主催・共催	7回	5回
	自立支援協議会等の参加	9回	2回
	連絡協議会への参加	23回	22回

## 上川中南部障害者就業・生活支援センターきたのまち

センター長 垣内中 明

平成21年4月に北海道と北海道労働局の委託を受け、上川中南部(2市12町1村)を活動圏域に現在9名のスタッフで運営しています。

前年に引き続き新型コロナウイルスの影響で、障害者雇用促進フェアの中止、企業訪問の制限、面談時間の短縮などの影響を受けている状況ではありますが、職場実習件数、就職件数は前年より増加しており、回復の傾向も見受けられます。今後も相談者のニーズを尊重し、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、就業、生活面での一体的な相談支援を行っていきます。

本年もよろしくお願いたします。

【令和3年4月1日～12月15日の活動報告】

	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	計
登録者数	38	444	160	93	3	0	14	752
新規求職者数	0	70	13	2	1	0	0	86
相談支援件数	255	1,872	1,199	603	7	0	5	3,941
職場実習の斡旋	0	65	10	2	1	0	0	78
就職件数	0	49	10	9	0	0	0	68
職場定着支援	54	648	167	55	0	2	0	926

# 旭川市職親会

事務局 伊藤 千佳代

障がいをもつ方々の就職と職場への定着を支援し、共に働き、共に暮らすことを願う様々な職種の仕事主を中心として昭和37年に設立された旭川市職親会は今年で60年目を迎えます。旭川は全道で14か所ある職親会の中でも最も古く伝統と歴史のある職親会で、現在136名(法人・個人)の会員様のご協力、ご賛同をいただきまして社会福祉法人旭川旭親会、障害者支援センターきたのまちが中心となって運営しております。

会の3大行事である「総会・優良従業員表彰式、祝賀会」、「障がい者激励会」、「職場訪問研修会」の開催が、新型コロナウイルスの影響により、行事が中止、延期せざるを得ない状況が続いております。令和3年度総会も書面会議という形式で開催されま

した。優良従業員表彰式については、表彰状と記念品を用意し事務局より対象企業へ持参し社内で表彰いただいております。

会員企業の皆様もかなりの影響を受けられているようですが、この苦境に負けずに頑張っておられます。

当職親会も、このような状況に負けずに、一人でも多くの事業主の方、ならびに趣旨にご賛同いただける団体および、個人の方に会員となつていただけるよう活動して参ります。

本年もよろしくお願いたします。



# きたのまちジョブブリハセンター

支援員 石黒 聖佳

きたのまちジョブブリハセンターでは、現在34名の方が登録され、1日平均10名の方が利用されています。今年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響でおびつたを使用する活動(軽運動・ヨガ教室・就労準備講座)や、パソコン教室等が中止になることもありましたが、活動に制約がかかる中でも、うがい手洗いや、消毒、時間短縮等の感染症対策を十分に行い、自立活動やグループワーク、レクリエーションなどを可能な範囲で継続しています。

今後におきましても感染症対策をしっかり行った上で活動を行い、メンバーが安心してセンターを利用できるよう努めていきたいと思っております。本年もよろしくお願いたします。



# 就労継続支援B型

利用者より **替地卓世**さん

今年は、施設外就労に行く機会が多かったです。4月は米農家へ播種の仕事をしに行き5月は田植えの作業を行いました。7月は比布のイチゴ農家さんにてイチゴの間引き作業を行いました。外の作業は天気が悪かったり暑かったりしましたが、みんなと協力して取り組むことができました。9月には東神楽のハウスで「しいたけ」の仕事をしました。ハウスの中での作業だったのでサウナに入っているような暑さでしたが暑さに負けずに取り組むことができました。今後ともみんなと協力して頑張ります。



見た目で勝負のズッキーニ(笑)

支援係長 **大泉加奈**

コロナウィルスの流行により今年度も予定したイベントが中止になり作業が減るなどの影響を受けました。しかし、昨年に続き取り組んでいる寒じめほうれん草が今年も順調に育ち道北アークス様に出荷させていただいています。又、トマト栽培も好調で昨年の収穫を超える量を収穫することができました。これも利用者・職員が一丸になって取り組んだ結果だと思っています。他にも施設外就労では、新しい実習先として「ひだの塗装」様での仕分け作業が加わりました。今後も新しいことを取り入れながら利用者さんがやりがいを持って働けるように取り組んでいきます。



【旭川福祉園】



利用者より **佐藤元**さん

僕は園内作業で箱折を頑張っています。施設外就労では療育園・近文リサイクルに行っています。療育園では衣類たたみ・近文リサイクルでは衣類の選別を行っています。どれも一生懸命に取り組んでいます。昨年はコロナの影響で毎年楽しみにしていた研修旅行が中止になったので、今年は東京方面に2泊3日で行きたいです。令和4年も福祉園の作業を頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

# 生活介護

【第二旭川福祉園】

利用者より **古川幸路**さん

農作業を頑張って、調理を頑張りたい！作った野菜をみんなに食べてほしいです。

利用者より **佐藤康子**さん

箱折りをしたいです。階段折りを頑張りたいです。みんなで散歩にも行きたいです。2泊の研修旅行で網走に電車とバスで行きたいです。



▲生活介護のみなさん集合！



おいしーいごはんを作ります！

うんとこしょ〜!!  
どっこいしょ〜!!

支援主幹 **八代瑞希**

生活介護では、今年度よりミニこれすと『ぼがら』にてテイクアウトでの食事の販売に挑戦しています。みんなで育てた野菜を活用しており、ヘルシーで家庭的な味が好評を得ています。またトマトジュース作りの他に、今年度は米谷産業様にご協力いただきオリジナルの味付け焼肉を作成しました。利用者の方々には野菜の皮むき、盛り付け、洗い物、パッケージのシール貼り等に携わってもらっています。様々な活動に取り組むことで、機能訓練や体力の維持に努めています。

第二旭川福祉園はいよいよ令和4年4月より新しい建物でのスタートとなります。重度の方々や高齢の方々に対する支援も強化しつつ、社会参加が生きがいや意欲となり、工賃の向上が励みとなるような取り組みにも力を入れていきたいと考えています。職員一同協力して、多岐に渡る支援を目指していきますので、今後とも変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

# グループホーム

【グループホーム花咲/グループホーム東旭川】

管理者/尾崎拓也

・現在、社会福祉法人旭川旭親会の運営するグループホームは、女性用の「グループホーム花咲」に5名、男性用の「グループホーム東旭川」に10名、15名の入居者さんが地域で自立した生活を送っています。

依然として新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、幸いにしてスタッフ、利用者共に感染者を出すことなく過ごしております。引き続き、利用者様や保護者の皆様にはご不便をおかけしますが、感染予防に努めてまいりたいと思います。

・今年は、「グループホーム東旭川」の保護者様にご寄付を頂き、隣接するガーデンを少しずつ整備することができました。

休憩スペースも設置し、天気の良い日は気分転換も兼ねて外で過ごして頂きました。ガーデンのプランターには、コールラビやケール、スイスチャードなどの珍しい野菜を植え、収穫時期には、新鮮な野菜が食卓に並びました。

・コロナ禍であまり外出する機会も少ないので、緊急事態宣言解除後に、「グループホーム東旭川」の敷地内で、利用者全員で、バーベキューを行いました。焼肉の時の食欲はすさまじいですね。

今後も可能な限り、皆さんの希望を取り入れた食事提供をしていきます!!



## グループホームの整備計画について

この度、鷹栖町北野に法人として3ヶ所目となる「グループホーム北野」の開設を予定しております。中古住宅を改修し、空床利用型短期入所を兼ねた女性用6名定員の予定です。「グループホーム北野」は、「グループホーム花咲」から3名の方が移動し、職員については、世話人、生活支援員、夜間支援員を配置致します。また、移動に伴い「グループホーム花咲」でも2名の募集をしていきますが、こちらは、夜間支援員の配置はありません。2ヶ所合わせて5名の募集をしております。開設時期につきましては、令和4年4月の予定です。

一昨年の「グループホーム東旭川」の開設と同様、障がいを持つ方々が、身近な地域で安心して自立した生活ができるように取り組んで参ります。旭川市全体の福祉事業からみるとささやかな前進ではありますが、法人として、少しでも地域のニーズに応えようとする想いと、そして何より温かいホッとできる施設にしたいと考えております。

今後とも、皆さま方には、温かいご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

★入居希望等につきましては、下記担当までお気軽にご相談下さい。  
【担当：グループホーム旭川旭親会／管理者：尾崎まで(0166-54-8553)】

いいあっぱい米粉ラーメン



ふくしえんのお米



ふくしえんの食品販売

●お米の定期便もしております●

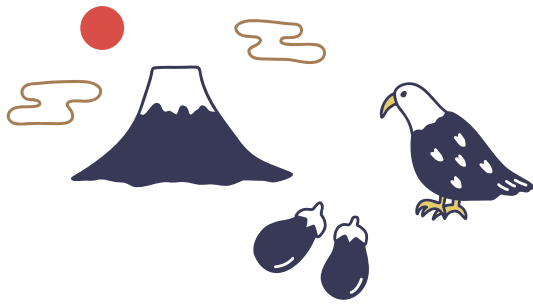
トマトジュース



花咲焼肉紀行



お問い合わせは (0166) 54-8553 までお気軽にどうぞ ☺



寄付金・御祝金

寄贈品

新任職員紹介

匿名	西山坂田電気(株)様	(株)廣野組様	(株)盛永組様	KTパイオニアグループ様	(株)大和パッケージ様	ライジング様	北海道療育園様	旭川防災(術)様	コカ・コーラボトリング様	(株)柴滝建築設計事務所様	(株)保険デザイナー様	富国生命様	(株)エムズフード様	鴨崎祐太様	(株)エスデー建設様	旭川市管工事業協同組合青年部会 会長 龍後篤志様	田井純二様	長野美紀子様	長野美紀子様	樽井啓子様
匿名	西山坂田電気(株)様	(株)廣野組様	(株)盛永組様	KTパイオニアグループ様	(株)大和パッケージ様	ライジング様	北海道療育園様	旭川防災(術)様	コカ・コーラボトリング様	(株)柴滝建築設計事務所様	(株)保険デザイナー様	富国生命様	(株)エムズフード様	鴨崎祐太様	(株)エスデー建設様	旭川市管工事業協同組合青年部会 会長 龍後篤志様	田井純二様	長野美紀子様	長野美紀子様	樽井啓子様



●グループホーム  
世話人 伊東朝香



●グループホーム  
世話人 星野美津子



●グループホーム  
世話人 美馬英明



●グループホーム  
世話人 大黒淳子



●グループホーム  
世話人 岸部弘子



●きたのまち相談支援事業所  
相談専門員 主藤のぶ子



●生活介護(第二旭川福祉園)  
支援員 安蘇裕司



●就労継続支援B型(旭川福祉園)  
支援員 後藤田千明



●就労継続支援B型(旭川福祉園)  
支援員 今井優奈

成人おめでとうございませす

祝 柏倉汰志さん



編集後記

まだまだ猛威を振るっている『新型コロナウイルス』ですが、そんな中やっと昨年東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。開催にあたっては、色々な意見がありました。スポーツを通して勇気や元気をもらった方も沢山いたかと思ひます。

今年、第二旭川福祉園(生活介護)の建て替え工事が完了し、新たな建物での活動が始まり、グループホームも3ヶ所目となる『鷹栖町北野』での開所も予定されています。さて、今年も寅年ですが、寅年は成長や始まりの年とも言われております。私自身も成長し、利用者さんが安心して生活できるようサポートして行きたいと思ひます。

【池田】